

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		JETプログラム事業(指導課)				②事業番号	7505		
③事業類型		1. 法上(必須)事業		④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 2 年度	設定なし	
⑥根拠法令等	<input type="radio"/> 法令	<input type="radio"/> 条例	<input type="radio"/> 規則	<input type="radio"/> 要綱	<input type="radio"/> 計画等	<input type="radio"/> その他	法令等の名称	学習指導要領 他	
⑦実施手法	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 補助・負担	<input type="radio"/> その他				
⑧関連予算科目コード	款	9	項	1	目	3	細目	6 61	
⑨担当部名	⑩担当課名							会計	一般会計
教育部		指導課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 小、中学校の児童生徒	① 児童生徒数	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・泉南市教育大綱及び泉南市教育振興基本計画に基づき、泉南市の教育をさらに発展的に実施するために重点的に実施する「令和2年度泉南市教育重点施策(SEPP2020)」の1つでもある「国際化教育プラン」として、JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。 ・幼稚園・保育園・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。 ・CIR/ALT/SEAを市民との交流のために派遣し、市内での国際交流を推進する。	① CIR/ALT/SEAの配置人数	人
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
・就学前の段階において、外国語や外国の文化に触れる国際交流を推進することにより、世界に様々な人々がいることを実感し、多様な文化を尊重する国際性の基礎を養う。 ・「関空のまち」泉南市の子どもたちが、グローバル社会の中でたくましく生きていくために、JETプログラムを活用し、語学力やコミュニケーション能力を育成する。	① 児童生徒のALT配置による外国語授業満足度評価	5段階
	②	
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市域に居住する外国人の行政相談や外国人の子供の教育を充実すると共に、地域における国際交流活動を推進することで、市内の人々が多文化理解の力を備えた「関空のまち」にふさわしい多文化共生社会を創造することに繋がる。	政策(章)	1: すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	3: 子どもが豊かな人間関係と学ぶ喜びを育むまちをめざします
	施策中	2: 義務教育の充実
	施策小	1: 生きる力の育成

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	児童生徒数	人			5,075	5,002	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②							—	
活動指標①	CIR/ALT/SEAの配置人数	人			2	10	15	R2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により予定していた人数の配置ができなかったが、来日済の1名により感染症対策を行いながら幼稚園や小学校での国際交流活動を行った。
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	児童生徒のALT配置による外国語授業満足度評価	5段階			—	4.5	4.5	
成果指標②					—			
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人			0.13	0.00	事業費などの推移における特殊要因などの説明
		任期付職員	人			0.00	0.00	
		臨時職員	人			0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円			992	0	
		直接事業費	千円			2,554	0	
総事業費		千円			3,546	0		
財源内訳	国庫支出金	千円			0	0		R2から人権国際教育課と共同実施。R3から人権国際教育課のみで実施。
	府支出金	千円			0	0		
	受益者負担金	千円			0	0		
	その他特定財源	千円			0	0		
	一般財源	千円			3,546	0		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	学習指導要領(平成29年告示)において外国語活動が実施されるなど、英語教育の充実を図る必要がある。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	児童生徒や、市民の方が国際交流活動を行うことで多文化理解が深まり、差別や偏見のない一人ひとりが大切にされるまちになると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

### 3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目	評価及び理由・説明等						
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	他団体と比較して任用人数は多くなっているが、学校規模に合わせての任用人数となっているので、今後児童生徒数の減少等により若干の調整が出てくる可能性がある。					

[2]有効性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	R2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により年度途中からのALT1名の任用となっているが、感染症対策を行いながら市内校園所での国際交流活動を行った。					
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある アイ. ない	今後多くの外国人青年の来日が叶えば、より活発な国際交流活動等が見込まれ成果の向上ができると思う。					
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	政策推進課や、生涯学習課と連携して行うことができる事業が今後出てくると考えられる。その際は、共同して取組を進めていくことで成果が向上すると考えられる。					

[3]効率性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	本事業の経費は全てJETプログラム参加者の任用に係る必要経費であり、任用人数を減らすことは学校規模に合わせたALT等の配置ができなくなり成果を下げることに繋がる。					

### 4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	総合評価の理由
	A	全ての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、外国語や外国文化に実際に触れ多様な文化を尊重する力を養う必要があるため、継続し実施する必要がある。	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

### 5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>	
ウ	<p>ア. 現状のまま継続      イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了      エ. 休止      オ. 廃止</p> <p>( R2 年まで )      ( ___ 年から )      ( ___ 年から )</p>
<今後の展開方針>	
	<p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)      b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)      d. 簡素化する(規模を縮小する)      e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	令和3年度以降において、人権国際教育課において実施。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—